

愛知・名古屋国際ネットワーク「欧州経済フォーラム」について

平成30年3月
外務省地方連携推進室
渡邊

本日は、愛知・名古屋を舞台とした駐日外交団・領事団を通じた海外との交流・取組みについて紹介致します。

愛知県、名古屋市、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所、(一社)中部経済連合会の5団体は、毎年、駐日大使や駐名の総領事・領事等の外交団・領事団を招待し、地元の官財界の代表者との交流・懇談の機会を設けています。特に、平成23年からは「愛知・名古屋国際ネットワーク」の名称で、ASEAN10か国を対象としてASEANフォーラム、視察ツアーを毎年実施。今年度(平成29年度)は初めて、ASEAN諸国に換え、欧州諸国を対象とした「欧州経済フォーラム」を2月8日午後に開催しました。また、同日午前はこの経済フォーラムに参加する外交団・領事団を対象とした「あいち航空ミュージアム」視察日程が組まれました。

以下は、「あいち航空ミュージアム」視察、欧州経済フォーラムの模様について報告致します。

1 あいち航空ミュージアム視察

この視察には、駐日ベルギー大使、在日英國大使館書記官、駐大阪ドイツ総領事他が参加致しました。名古屋空港周辺は、初の国産ジェット旅客機であるMRJの開発・製造される現在注目のエリアです。このミュージアムには日本国産発の旅客機であるYS-11の実機が展示されており、視察に参加した外交団は、ガイドの案内により内部がVIP仕様のままのYS-11機内を視察し、往時の日本の航空機の出来映えに感心していました。



2 愛知・名古屋国際ネットワーク「欧州経済フォーラム」

- (1) 8日午後2時より、大村秀章愛知県知事の開会挨拶の後、ピーター・ランダース・ウォールストリート・ジャーナル東京支局長より、『2018年世界経済の展望について～日本・欧州経済の動向を中心～』と題する基調講演が行われました。同支局長からは世界的に経済状況は良好であるものの政治分野では不安定な状況になっているとして現状が概括されました。
- (2) 続いて「欧州各国から愛知・名古屋へのメッセージ『投資・貿易・観光などからなる交流拡大に向けて』」のテーマの下、駐日ベルギー大使、在日仏大使館貿易投資

参事官、駐大阪・神戸独総領事、駐日伊大使、蘭經濟省企業誘致局プログラム・マネージャー、在日英國大使館書記官の順にパワポ資料を用いてプレゼンテーションが行われました。各国代表は、それぞれの国と日本との二国間関係やそれぞれの国と愛知・名古屋との経済・貿易・観光分野の関係について概説するとともに、市場・投資先としてのそれぞれの国の魅力・施策を聴衆に熱く語りました。

各国代表からのプレゼンテーションの後、聴衆から質問を受ける形で質疑応答が行われました。その中で、各国代表からは、日本は沢山良い所を持っているとして日本への観光客の増加に向けて色々なアドバイスが出されました。また、質疑応答の後は、欧州各国の代表等と聴衆との間で活発なネットワーキングが行われました。



3 終わりに

今回、視察ツアーも含め「欧洲経済フォーラム」に参加しました。愛知・名古屋地域の官民のメインプレイヤーが、毎年、このように官民連携により駐日外交団・領事団を通じた海外との交流・取組みを行っていることは、日本にいながら各国へアウトリーチする舞台は必ずしも東京である必要はなく、むしろ、外交団・領事団に実際に地方の魅力を体感してもらいつつ海外とのパイプを太くする非常に有意義な試みであること、日本の地方と外国との連携を図っていく手法のモデル・ケースの一つになり得ると感じました。今回の「欧洲経済フォーラム」が成功裡に終了したことを祝するとともに、愛知・名古屋国際ネットワークの取組みに改めて敬意を表したいと思います。（了）